

# 向学

徳之島高等学校 進路通信  
進路指導部 進路情報係 第 6 号  
発行日 R7. 12. 2 (火)



2 学期末考査が終わり、3 年生の多くは自分の進路を決定し、卒業そして卒業後のそれぞれの道に向けて準備をする時期になりました。その姿を見ながら、1・2 年生の中には、「そろそろ自分も考えてみないと…」と感じ始めている人もいるかもしれません。

徳之島では、小さいころから家の手伝いをしたり、地域の行事に関わったりと、学校の外でも多くの経験を積む機会があります。だから今回の進路通信は、「みなさんが今すでに持っている力をさらに強くするための学び」をテーマにお伝えします。

## 【1】学校の外で育つ力 徳之島の高校生が持つ「生活力・責任感」

徳之島の高校生は、日常の中で「社会の一員として関わる経験」を多く積んでいます。例えば、家の手伝い、地域行事での役割、幅広い年代とのコミュニケーション…

こうした経験は、生活力・責任感・協調性・継続力を自然と育てています。社会参加は人間の成長に良い影響を与える、地域社会で役割を持つ経験は、社会性の発達を助けてくれます。ですから、みなさんは他の地域の高校生よりも、すでに大きな強みを持っているのです！

## 【2】学校の中で育つ力 思考力と言語化力は「学校の勉強で伸ばすことができる！」

地域の中で育つ力がある一方、学校でこそ育つ力があります。それが、文章を読み取る力、理由や根拠を考える力、考えを言葉にまとめる力、計画を立てる力、新しい知識を理解する力、といった「思考力」です。これらは、学校の学びを通して伸びていく力です。

この思考力が育つと、社会で次のように役立ちます。

### ・仕事を任せやすくなる

指示や文書を正確に理解し、筋道立てて説明できるため、安心して仕事を任せてもらえる。

### ・判断が早くなる

優先順位をつける、原因を考える、次の行動を選ぶといった日常の判断がスムーズになる。

### ・相手の意図を読み取れる

上司・同僚・顧客などの言葉の背景を理解し、求められていることを的確にくみ取れる。

このように、学校で育つ思考力は、社会のさまざまな場面で力を発揮します。

## 【3】3 年生の進路が決まる今がチャンス 1・2 年生が、未来を意識するきっかけに！

進路が決まり始めた 3 年生の姿は、1・2 年生にとって大きな刺激になります。ただ、先輩たちは決して最初から明確な進路目標を持っていたわけではありません。模試や検定を受けて気づいた、授業内容から興味が広がった、ホエールタイム、部活や行事、アルバイトの経験がヒントになった、先生との面談でハッキリした…このように日頃の学校生活や、学校内外での経験の積み重ねで、進路目標が明確になっていくのです。

## 【4】「勉強＝将来のため」頭では分かっているけど、何の役に立つの？ 生活実感に沿って考える

徳之島で育ってきたみなさんは、日常の中で生活する力を早くから身につけてきたと思います。そのため、「勉強は将来、役に立つ」と言われても、なかなか実感しにくい人もいるかもしれません。

そこで今回は、「なぜ学ぶのか？」を、みなさんがすでに持っている力を出発点にして考えてみます。

その答えは“今の強みを、さらに強くするため”という視点です。

### 【5】学びが加わると、今の強みはさらに伸びる

徳之島の生徒がすでに持っている力は、・責任感、協調性、人に頼られる力、地道に続ける力、相手を思いやる気持ち…これらに学校で育つ力が加わると、次のように変化します。

- ◆ 読解力→ 指示や状況の理解が早くなる
- ◆ 言語化力→ 面接や説明で自分を表現できる
- ◆ 思考力→ 問題の原因や対処法を考えられる
- ◆ 計画力→ 作業や準備を効率よく進められる
- ◆ 判断力→ ミスが減り、周囲から信頼される

つまり、学びは「今ある力を最大限に発揮するための道具」なのです！

### 【6】進路がまだ決まらない人へ 3つのタイプ別・興味の見つけ方

進路希望調査では、1・2年生の14%が“未定”という状態でした。未定は決して悪いことではありません。興味は経験から育ちますので、すでに自分自身の中にあるものを見つめてみましょう。

ここで進路を探すのに役立つ3つの方法を紹介します。

① ピース収集型 →日常の中で「ちょっと楽しい」「少し頑張れた」と思えた瞬間を集める。

② Don't 型 →「得意ではない」「好きではない」と思うものを外していく。

残ったものが“興味の核”になりやすい。

③ Needs 型 →人から「お願い」「手伝って」と頼まれることにその人の強みが表れやすい。

### 【7】未来は「逆算」すると動き出す メンタルリハーサルの効果

現時点で進路希望が明確な人(進学・就職とも)は、「イメージ」を重要視することで、今やるべきことが明確になってきます。2016年、21世紀枠で選抜高校野球大会に初出場した小豆島高校野球部(香川県)は、以下のようなことを普段の練習から意識していました。



過去を振り返り、未来の見通しを立てるのではなく、「未来からの逆算」を意識する。行き当たりばったりの偶然を重ねるのではなく、予想された必然を重ねる。

#### ★イメージを具体化する方法とは？

→公共性の高いもの(=自分以外の親・友人・地域の方々といった周囲の反応など)を想像する。

- ・スポーツでは、試合会場の雰囲気、相手校の選手の特徴、最終的な試合結果などをイメージする。
- ・入試では、試験会場の雰囲気・出題される問題・結果などをイメージする。

(例：映画での感動体験は、主人公になりきる＝イメージが強いからこそ生まれる。)

「メンタルリハーサル」ともよばれる。

#### 【まとめ】

- ・徳之島の高校生は“生活経験から育つ力”をすでに持っている
- ・学校での学びは、その強みをさらに伸ばすための土台になる
- ・進路は“学びと経験の積み重ね”によって形づくられる

みなさんのこれからの成長を、進路指導部は心から応援しています！